

理学部：生物学科

【卒業要件：124単位】

1. 全学教育科目は、卒業要件として(イ)～(ホ)に従い、42単位以上を修得する。

(イ) 教養教育科目は、以下の条件に従い、10単位以上を修得する。

コア教養科目の「人間と文化」、「文芸と人間」、「歴史の認識」の中から1科目2単位以上を、

コア教養科目の「異文化の理解」、「現代の政治と法」、「現代の社会と経済」の中から1科目2単位以上を、

コア教養科目の「地球と生命」、「数理と情報」、「物質の世界」の中から1科目2単位以上を履修すること。

なお、コア教養科目の「医療と福祉」、「芸術とテクノロジー」については、1科目2単位に限り、コア教養科目のうちの不足する区分の単位とすることができる。

さらに、上記で修得した科目を除くコア教養科目および六本松地区で開講する個別教養科目の中から4単位以上を修得する。

(ロ) 言語文化科目Ⅰでは、第1外国語6単位以上、第2外国語4単位以上を修得する。

(ハ) 健康・スポーツ科学科目Ⅰでは、「健康・スポーツ科学講義」、「健康・スポーツ科学実習」を修得する。

(ニ) 基礎科学科目Ⅰでは、必修科目10単位と選択必修科目の中から8単位の計18単位を修得する。

なお、選択必修科目の中で次の科目を履修することが望ましい。

「基礎化学結合論」、「基礎有機化学」、「基礎化学実験」、「基礎生物学実験」

(ホ) 情報処理科目Ⅰでは、「情報処理基礎演習」を修得する。

2. 専攻教育科目では、卒業要件として以下の(a)(b)をみとすことが必要である。(開講される専攻教育科目の種類や標準履修時期については理学部専攻教育科目配当表を参照すること。)

(a) 必修科目12単位を修得しなければならない。

(b) 選択必修科目A、選択必修科目Bおよび選択科目(*印の授業科目を除く)から60単位以上を修得しなければならない。ただしこの60単位のうち、本学科の専攻教育科目(必修科目を除く)から44単位以上(選択必修科目Aより6科目以上および選択必修科目Bより8単位以上を含む)を修得しなければならない。

3. 理学部の卒業要件として、上記1および2の卒業要件の外に、総合選択履修方式により10単位以上を修得する。なお、上記10単位のうち4単位以上は3年次以降で修得することが望ましい。

また、基礎科学科目Ⅰの中で次の科目から、2科目以上を履修することが望ましい。

「微分積分統論」、「電磁気学基礎」、「基礎化学熱力学」

4. 進級について

理学部生物学科では、進級、研究室配属(生物学特別研究Ⅰ、Ⅱ履修)にあたって、下記の条件を満たしておかななければならない。

(1) 進級の要件：

2年次後期以降に開講される専攻教育科目を履修するためには、予め全学教育科目から34単位以上および選択必修科目B(専攻教育科目)から6単位以上を修得しておかななければならない。

なお、進級判定の時期は2年次の9月とする。

(2) 研究室配属の要件：

「生物学特別研究Ⅰ」(標準履修時期4年次第1学期、選択)および「生物学特別研究Ⅱ」(標準履修時期4年次第2学期、必修)を履修するにあたっては、予め全学教育科目および総合選択履修方式により48単位以上、ならびに専攻教育科目40単位以上(選択必修科目Aから6科目以上の単位を含み、*印の授業科目は除く)を修得しておかななければならない。

注意事項：

2年次前期までの間に開講される専攻教育科目は、六本松地区においては低年次専攻教育科目と呼ばれており、その中には、選択必修科目Bのものと、選択科目であるものが混じっている。選択必修科目Bについては、卒業のために8単位以上の修得が必要とされるので、進級の時点でこの条件をできるだけ達成しておくことが望ましい。

理学部の生物学科以外の専攻教育科目は選択科目として認める。なお、理学部以外の専攻教育科目は、審議のうえ選択科目として認めることがある。ただし、履修前に必ず生物科学部門等事務室に届けること。

専攻教育科目配当表に示した履修時期は標準的なものであり、可能であれば表示した学年と異なる学年で履修してもよい。

取得すべき単位やその内容種類別などについて不明なときには、生物科学部門等事務室(生物学教室事務室)に相談すること。理学部の学生掛では、各学科教室によって事情の異なることについては判断できない。

履修細目一覧（ 理学部：生物学科 ）

区 分	授 業 科 目	最低修得単位数			受 講 キャンパス		
		科目区分毎の 単 位 数	総合選択 履修方式	合 計			
全 教 育 学 科	教 養 コ ア 教 養 科 目	人間と文化(2) 文芸と人間(2) 歴史の認識(2) 異文化の理解(2)	2単位	10単位	六本松		
		現代の政治と法(2) 現代の社会と経済(2)	2単位				
		地球と生命(2) 数理と情報(2) 物質の世界(2)	2単位				
		上記で修得しなかったコア教養科目	4単位				
	目 個 別 教 養 科 目	六本松キャンパスで開講する科目	4単位			箱 病 大 元	
		箱崎, 病院, 大橋, 元岡キャンパスで開講する科目				崎 院 橋 岡	
	教 育	言語文化科目Ⅰ	第1外国語 第2外国語	6単位 4単位			
		健康・スポーツ科学科目Ⅰ	健康・スポーツ科学講義(2) 健康・スポーツ科学実習(1)	2単位 1単位			
	科 目	基 礎 科 学 科 目 Ⅰ	【必修科目】 線形代数A(1.5), 線形代数B(1.5), 微分積分A(1.5), 微分積分B(1.5), 力学基礎(2), 物理学基礎実験(2)	10単位		10単位 ※2	六本松
			【選択必修科目】 上記の必修科目以外の基礎科学科目Ⅰから履修 すること。 (推奨科目) 基礎化学結合論(2), 基礎有機化学(2), 基礎化学実験(2), 基礎生物学実験(2)	8単位			
次の科目の中から, 2科目4単位以上を履修する ことが望ましい。 微分積分続論(2), 電磁気学基礎(2), 基礎化学熱力学(2)							
情報処理科目Ⅰ		情報処理基礎演習(1)	1単位				
	言語文化科目Ⅱ				六本松 箱 崎 病 院 橋 岡 大 元		
	健康・スポーツ科学科目Ⅱ						
	基礎科学科目Ⅱ						
	情報処理科目Ⅱ						
	外国語コミュニケーション科目						
専 攻 教 育 科 目	他専攻の専攻教育科目						
	低年次 (第1学期) (第2学期) (第3学期) (")	遺伝学, 生化学Ⅰ 生態学Ⅰ, 分子遺伝学Ⅰ (選択必修科目B) 臨海実験Ⅰ, 生物物理化学Ⅰ, 生化学Ⅱ 系統進化学(選択科目)	72単位		箱 崎		
	第4学期以降	理学部専攻教育科目配当表を参照すること。					

※1 「医療と福祉」, 「芸術とテクノロジー」については, 1科目2単位に限り, コア教養科目のうちの不足する区分の単位とすることができる。

※2 総合選択履修方式の10単位には, 科目区分毎の最低修得単位数分として履修した科目を除いて履修すること。総合選択履修方式において, 3年次以降に4単位以上履修することが望ましい。